

建設女子はメイク崩れにお悩み

7割以上が実感

建設業界に特化した人材サービスを展開するウィルオブ・コンストラクション（東京都新宿区、田中謙社長）の調査によると、汗や天候でのメイク崩れに悩む建設女子が7割以上いることが分かった。

対策アイテムは▽ウオータープルーフ▽キープミスト▽フェイスパウダーなどさまざまに工夫している。建設現場の日焼け対策としては、塗り直ししやすいスプレータイプの日焼け止めが活用されていた。

同社は建設現場に勤務する10〜30代の女性技術者131人を対象に、「建設現場で働く若手女性社員のメイク・ヘアセット・日焼け対策に関する調査」をオンラインで行った。調査期間は7月24日〜8

月4日。

仕事の日にメイクをしているか聞いたところ、「はい」と回答した割合が77・1%だった。

うち建設現場で働く上でもメイクで困っていることを複数回答で尋ねると、73・3%が「汗をかいたり、天候によってメイクが崩れる・汚れる」と答えた。屋外での作業も多いため、業務中のメイク崩れに悩んでいる女性社員が多いことが分かる。

建設現場で働く上でメイクで工夫していることを自由回答で聞いたところ、半数近くが「必要最低限のメイクで済ませる」と回答し、メイク崩れを起こさないためにナチュラルメイクを心掛けている女性社員が多い。一方、ウオータープルーフのメイク用品を使用したり、メイクキープミストやパウダーを使用したりするなど、メイクが崩れないようにさまざまな工夫をしている。

仕事の日にヘアセットをしているか尋ねると、「はい」と回答した割合が74・1%。このうち建設現場で働く上で

ウィルオブ・コンストラクション調査

建設現場で働く上で、工夫している「メイク」

「メイク」で工夫していること	自由回答、n=47	回答率
1位	必要最低限のメイクで済ませる	48.9%
2位	ウォータープルーフのメイク用品を使用する	17.0%
3位	メイクキープミストを使う	10.6%
4位	パウダーを使う	8.5%
5位	色付きの化粧下地・日焼け止めを使う	6.4%

建設現場で働く上で、工夫している「ヘアセット」

「ヘアセット」で工夫していること	自由回答、n=41	回答率
1位	「ヘルメットが被りやすいように」ローボニーで結ぶ	48.8%
2位	ヘアアイロンで整える	9.8%
3位	（ヘルメットで崩れるので）あえてセットしない	9.8%
4位	汗をかいたらドライシャンプーを使う	7.3%
5位	ヘアピンで固定する	4.9%

建設現場で働く上で、工夫している「日焼け対策」

「日焼け対策」で工夫していること	自由回答、n=44	回答率
1位	こまめに日焼け止めを塗る	50.0%
2位	スプレータイプの日焼け止めを使う	27.3%
3位	アームカバーやグローブ等を使う	11.4%
4位	飲む日焼け止めを使う	4.5%
5位	日焼け後の対策として美白化粧品を使う	2.3%

（ウィルオブ・コンストラクションの資料から）

さまざまなアイテムで工夫

ヘアセットで困っていることを複数回答で聞いたところ、「ヘルメットをかぶるので、ヘアセットしても崩れてしまう」と答えた割合が65・0%で最多となり、建設現場特有の悩みを持っていることが分かった。

建設現場で働く上でヘアセットの工夫を自由に回答してもらったところ、「（ヘルメットをかぶりやすいように）ローボニーで結ぶ」と回答した割合が48・8%と、半数近い結果となった。ヘルメットの安全性を維持しつつ、髪形が崩れないようにするため工夫している女性社員が多いようだ。このほかヘアアイロンを持ち歩いたり、汗対策としてドライシャンプーを使ったりしているという声もあった。

仕事の日に日焼け対策はしているか聞いたところ、「はい」と回答した割合は90・0%で、ほとんどの女性社員が「日焼け対策をしている」と答えた。このうち建設現場で働く上で日焼け対策で困っていることを複数回答してもらったところ、「汗や天候によって、日焼け止めが落ちてしまう」（64・4%）、「長時間現場にいるため、日焼け対策をしても焼けてしまう」（57・6%）との回答が多く、屋外作業の多い建設現場では、日焼け対策はかなり難しいと感じているようだ。

建設現場で働く上で日焼け対策の工夫を自由に回答してもらったところ、「こまめに日焼け止めを塗り直す」と回答した割合が50・0%で最も多く、27・3%が「スプレータイプの日焼け止め」を活用していた。何度も塗り直しが必要な建設現場で働く女性社員には、手軽に塗り直しが可能なスプレータイプの日焼け止めが使いやすいようだ。

